

2026衆院選 立候補予定者 政策アンケート (RBC・琉球放送)

仲間暁子 1983年9月24日生まれ 那覇市出身
2002年 県立那覇西高校卒業
2006年 福岡大学卒業
2006年に沖縄観光コンベンションビューローに採用され約4年間務める
2011年に医療機器などの輸入販売を手掛けるコンバテックジャパンに入社
2016年に人材育成会社フルーツポンチを立ち上げ代表を務める

玉城県政の支持 支持する / 支持しない

支持しない

玉城県政は一部の立場や主張に偏り、県民全体の暮らしや経済、将来世代への影響を総合的に考えた県政運営がなされているとは感じられません。物価高や中小事業者の経営、子育て・医療・雇用など、今まさに必要な生活課題への具体的な対策が弱く、県民一人ひとりの生活実感から乖離していると考えます。

高市政権の支持 支持する / 支持しない

支持しない

外交面では国益を意識した姿勢を評価しています。また、ガソリン暫定税率の廃止など、早急に対応を進めた点は良いと感じています。一方で、それ以外の分野についてはまだ全体像や方向性が見えにくく判断しかねます

今回の選挙戦の最大の争点は何ですか。

今回の選挙戦の争点は、消費税をはじめとする税と社会保険料の負担、そして物価高への対応です。食料品のみ消費税を0%にするのか、一律で減税・廃止するのか。加えて、社会保険料という実質的な負担をどう見直すのかが問われています。中小企業や個人事業主、生活者の手取りを増やし、暮らしを支える政治が求められています。

最も重視する政策について選択肢から1つ選んでください。

①経済・雇用 ②米軍基地問題 ③安保政策・自衛隊配備 ④医療・福祉 ⑤教育・子育て ⑥沖縄振興計画 ⑦その他

①経済・雇用

最も重視する政策は経済と雇用です。これまでの大企業誘致による雇用創出から転換し、第一次産業や県内中小企業、個人事業主を豊かにする経済政策が必要だと考えます。沖縄経済は内需が中心です。県外にお金が続けられる構造を改め、地域でお金が循環する仕組みをつくることが重要です。

普天間基地の辺野古移設計画についての政治姿勢を以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

③反対

普天間基地の危険性除去は一刻も早く必要ですが、辺野古移設が唯一の解決策だとは考えていません。軟弱地盤や工期・費用の問題、環境への影響など多くの課題が指摘されており、県民の理解も十分に得られていません。県民の意思と生活環境を尊重し、沖縄に過度な負担を押し付けない、現実的な解決策を国と対等に協議すべきです。

南西地域の防衛力強化についての政治姿勢を、以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

①推進

南西地域を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、一定の防衛力強化は必要だと考えます。ただし、住民の安全や暮らしへの影響を最小限に抑えることが前提です。防衛ありきで進めるのではなく、十分な説明と合意形成、避難計画や生活インフラ整備を含めた実効性ある対策を国の責任で行うべきです。